

森 かな

～須崎地区森林組合広報～



- 02 平成30年度 決算報告 あいさつ
- 03 「安全衛生大会で事故発生時の緊急連絡訓練を実施しました。」
- 04 地籍調査の一筆地調査(現地立会)を行います。/間伐施業地の紹介
- 05 第1028回市 高知県森連 高幡共販所 / 新入社員の紹介
- 06 木工教室を開催
- 08 永年勤続表彰/ドローンを導入しました!/令和元年(2019)つち期間表

決算報告 あいさつ

組合員の皆様には、平素より当組合の業務に関し多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年度決算報告ですが、買取林産事業につきましては、小規模ながらも皆伐事業に取り組み、多少の利益を上げることが出来ました。また、請負林産の国有林事業においても、木材増産に取り組んだことにより契約金額の増額となり、利益を上げることが出来ました。森林整備部門、作業道開設事業、受託林産事業におきましては、高性能林業機械の計画的な導入、利活用により安定的な木材搬出を実施出来、受託林産依頼者の皆様には多少なりとも還元することが出来ました。地籍調査事業については、市町単位での事業量の増減はありましたが、総合的には前年度と同程度となりました。

平成30年度決算としましては、一般事業は当初計画を上回る結果となりました。しかし、中土佐町貯木場を中土佐町へ住宅用地として売却した結果、特別損失として固定資産の売却損が発生し、今期はマイナス決算となりました。決算書上マイナスを計上しますが、キャッシュフローとしては現金が入り、長年にわたる固定化していた短期借入金返済することが出来ました。このことにより、今



後の組合経営上での資金繰りが楽になり経営健全化が多少なりとも図られると考えます。

今後も、安全第...を優先し、そして中期経営計画に沿って、各事業の進捗、収支管理を徹底し、地域の林業を担う一翼として林業大学生インターンシップ受入等を行い、人材確保と同時に人材育成に努め、成熟した森林資源を活用・増産を図り、黒字安定経営を目指し役員一丸となって努力していきたいと思えます。

最後に、昨年1年間の組合員皆様をはじめ、県、関係市町並びに関係機関の皆様のご理解・ご協力に衷心より感謝申し上げますとともに、今後とも指導・鞭撻よろしくお願いいたします。

損益計算書 (自平成30年4月1日～至平成31年3月31日)

(単位:円)

科目	小計	合計	指導	販売	加工	森林整備
事業総損益	事業総収益	356,586,447	0	120,926,572	5,294,237	230,365,638
	事業総費用	206,342,798	529,893	64,245,029	5,733,547	135,834,329
	事業総利益		150,243,649	△ 529,893	56,681,543	△ 439,310
事業損益	事業管理費	114,927,364	4,420,305	17,412,181	5,195,145	87,899,733
	事業利益		35,316,285	△ 4,950,198	39,269,362	△ 5,634,455
経常損益	事業外収益	3,934,080				
	事業外費用	2,404,851				
	事業外損益		1,529,229			
	経常利益					36,845,514
特別損益	特別利益	25,109,192				
	特別損失	70,067,744				
	特別損益		△ 44,958,552			
法人税、住民税及び事業税		322,500				
当期剰余金		△ 8,435,538				
前期繰越剰余金		42,788,878				
役員退任慰労積立金取崩額						
当期末処分剰余金		34,353,340				

剰余金処分案 (平成30年度)

(単位:円)

摘用	内訳	小計	合計
I. 当期末処分剰余金			34,353,340
II. 剰余金処分額			—
法定準備金			—
III. 次期繰越剰余金			34,353,340

総合貸借対照表 (自平成30年4月1日～至平成31年3月31日)

(単位:円)

資産の部			負債の部		
流動資産	現金	506,895	流動負債	買掛金	1,546,725
	預金	59,279,612		短期借入金	65,118,548
	売掛金	3,285,484		未払金	45,584,475
	未収金	92,195,104		未払法人税等	322,500
	棚卸資産	62,911,570		預り金	13,178,852
	その他	9,026,473		受託販売預かり金	34,458,438
	小計	227,205,138		受託販売預かり金(みどり)	1,380,565
固定資産	有形固定資産	167,606,742	前受金	860,342	
	無形固定資産	0	小計	162,450,445	
	外部出資金	37,501,500	長期借入金	5,000,000	
	その他	10,928,429	退職給付引当金	35,985,340	
			その他	32,342,885	
			小計	73,328,225	
			純資産の部		
小計			出資金	111,170,000	
			利益剰余金	94,293,139	
			資本準備金	2,000,000	
		216,036,671	小計	207,463,139	
合計	443,241,809	合計	443,241,809		

「安全衛生大会で事故発生時の緊急連絡訓練を実施しました。」

林業は人里離れた山の中での作業が主流です。もし仲間の命に係わる重大な事故が発生したら、他の仲間との確な連携が最も重要です。

当組合で年に一度開催される安全衛生大会ですが、今年高幡消防署中土佐分署の皆さんに協力していただき、実際に中土佐町内の山林にある現場で、事故発生直後から、通報、救急隊員を現場まで誘導する訓練を行いました。

想定した事故状況は、伐倒作業中に伐倒木が現場班長へ激突し、意識不明の状態です。まず新入生の片岡君が実際に「119 (通報訓練) へ通報し救急要請を行いました。そのやり取りをスピーカーを通じて訓練参加者にもリアルタイムで聞いてもらいます。事故状況自分達の現在位置を的確に伝え、事前に新規現場へ入場する際決めておいた救急車待ち合せ場所(ドッキングポイント)を説明し、救急車を誘導できるか、そして救急隊員を迎えに行けるか訓練しました。さらに同時進行で残された班員は心肺蘇生、止血法など被災者の状況に応じた的確な処置ができるかを丁寧に指導していただきました。

中土佐分署の救急隊員さんも緊急電話を受け、ドッキングポイントである公民館まで即座に出勤し、山のもとにある作業場入口からは救急車が入れない状況設定のため、事故現場まで自らの足で走って来てくれました。中土佐分署の皆さん協力のもと、訓練を通して色々な気づき、勉強ができたと思います。これからも二者間

連携で協力し合い、緊急時、仲間の命を救う為の訓練を続けていきたいと思えます。

8月半ばの非常に暑いなか、当日休暇返上で協力してくださいました高幡消防署中土佐分署の皆さん、ご協力本当にありがとうございます。訓練以外で、お世話にならないよう、これからも日々の安全活動を全員で続けていきます。



救急隊が到着するまでの応急処置などを習っています。



到着した救急隊員さんにも本番さながらの対応。ここまでで訓練終了です。



毎年、安宮神社の神官祈禱を受けてもらっています。



事故発生直後の写真。実際に119番へ電話し、救急隊員へ助けを求めています。

材長	樹種 径級	杉				桧			
		直	小曲	曲	大曲	直	小曲	曲	大曲
4m	6~8cm	9,000		8,000		10,000		10,000	
	9~12cm	9,000		9,000		11,000		11,000	
	13cm					14,700			
	14~16cm	10,500		9,500		19,000		15,000	
	18~22cm	13,000		11,500		16,500		15,000	
3m	24~28cm	13,000		11,500		16,000		15,000	
	6~8cm					8,500		8,500	
	9~12cm	8,000		8,000		10,000		10,000	
	13cm					12,000		9,500	
	14~16cm	13,000		10,000		18,000		14,500	
2m	18~22cm	13,000		11,500		16,500		12,000	
	24~28cm	13,000		11,500		15,000		14,000	
	13cm下	4,000				4,000			
	14~16cm	4,000				8,000			
6m	18~22cm	4,000		4,000		8,000			
	24~28cm	6,000		4,000		13,000		11,000	
	16cm	18,000				21,000			
6m	18~20cm	20,000		18,000		25,000		24,000	
						23,000			

上記は協定価格となりますが、材の品質および形状によってはこの価格とは異なります。

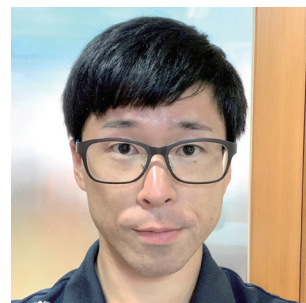
- 長雨と台風の影響で出荷量が減少しております。今後の天候次第で出荷量は増加するものと思われませんが、製品市況の低迷等により原木価格は低調となっております。
- 杉は3・4m共に太材の動きが鈍くなっております。34cm上、曲りおよび欠点材は4m造材をお願いします。桧は3・4m共に直造材をお願いします。2m24上は継続して好調です。
- 6mにつきましては、直材18~20cm中心の造材をお願いします。全ての出荷材に6cm~10cm程度の余尺を入れて下さい。樹皮が剥がれる時期は特に気を付けてください。
- 40~60年生程度の一般材もしくは末口直径34cm以下の材については、元の根張りをはずした造材をお願いします。この様な材で根張りのきつい材は価格が安くなる可能性があります。
- つちの期間は、9月30日 ~ 10月14日です。この期間中の伐倒は控えてください。

木材市は毎月初めと16日頃に開催しています。多数のご出材をよろしくお願いたします。



新入社員紹介

当森林組合の新しい担い手を紹介します。



川崎 倫央
平成3年5月14日

出身地：東京都
趣味：アウトドア・音楽

覚えることだらけですが、頼もしい技術職員達をいち早くサポートできるように勉強していこうと思います！



片岡 紀文
平成10年4月27日

出身地：高知市
趣味：音楽・ドライブ

林業大学のインターン時からお世話になっていた当組合で、これから更に本格的に作業に取り組み、技術の向上を目指して頑張っていきます！



武田 光徳
平成7年1月5日

出身地：四万十市
趣味：映画・DVD鑑賞

4月より働かせていただいています。まだまだ素人同然ですが、必死についていこうと思います！



清遠 康博
昭和47年3月28日

出身地：香南市
趣味：アウトドア

1月より働かせていただくことになりました。まだ慣れないこともありますが、頑張っていきたいと思っています。



須崎地区森林組合では、市町村が主体となつて行う地籍調査の一部の、「一筆地調査(現地立会)」に平成24年度より参入しております。

地籍調査とは「一筆(※)ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、筆界の位置と面積を測量する調査であり、その工程内の一筆地調査とは原則その土地の所有者や代表者、若しくは相続人や相続人代表者の方に立ち会っていただき筆界の確認を行う作業です。

地籍調査を実施することにより、筆界や面積、土地に関する登記の情報が正確なものとなり、土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化、適切な森林管理など多方面へのメリットが発生します。また地籍調査の事業費は国土調査法に基づき、国・県・市町村が負担するため個人負担はありません。

今年度の関係者の方々には順次市町村より案内文書を送付し、現地立会日のご連絡をさせていただきます。登記所では「一筆」ごとに登記がなされ、土地取引等の単位となっております。

※土地の所有権等を公示するために、人為的に分けた区画のこと。土地は筆(ひと)ごとの単位でカウントされます。登記所では「一筆」ごとに登記がなされ、土地取引等の単位となっております。

そのため、土地の売買や抵当権などを設定する場合には相手方の承諾が必要になったり、相続贈与、売買などでの分筆が困難になったり、合筆や農地転用が困難となります。また筆界未定地を解消する場合には所有者間で筆界を決定し、測量し、法務局へ地図訂正と地籍更正の申請が必要となり、そのためには隣接所有者への筆界立会依頼やその日程調整、専門家への調査・測量の委託や、登記手数料といった経費を個人で負担する必要があるため、大変な手間と費用がかかります。

令和元年度 須崎地区森林組合地籍調査(一筆地調査)実施内訳

市町村	地区	予定面積	対象筆数	備考
須崎市	下郷の一部	0.53k m ²	669筆	
土佐市	甲原の一部	0.66k m ²	251筆	
	福田の一部	0.85k m ²	703筆	
中土佐町	久礼の一部	0.53k m ²	102筆	鎌田地区
		2.57k m ²	1,725筆	

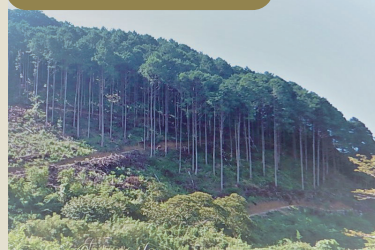
須崎地区森林組合では、管内4市町(須崎市、中土佐町、土佐市、津野町(旧葉山村))で収入間伐を実施しており、森林整備に努めています。木材を搬出するには作業道が必須となり、林内につけた作業道を利用し、ダンプ・林内運搬車(フォワーダ)で土場まで間伐材を搬出し、そこから大型トラックに積み替えて市場まで運搬するという作業工程です。

最近では、土佐市家俊地区で皆伐・搬出作業を行っています。国道56号線からも一部が確認でき、林内も大変明るくなりました。残した良木は間伐する事で、混み合っていた樹幹(枝葉)が数年後には大きく広がり、さらなる成長を促します。

現在、須崎市、中土佐町で収入間伐作業を行っており、管内組合員の皆様には騒音等ご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、間伐作業の相談等も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

土佐市家俊 間伐展示林



担当：須崎地区森林組合 業務課 嶋崎

間伐施業地の紹介

須崎地区森林組合では、管内4市町(須崎市、中土佐町、土佐市、津野町(旧葉山村))で収入間伐を実施しており、森林整備に努めています。木材を搬出するには作業道が必須となり、林内につけた作業道を利用し、ダンプ・林内運搬車(フォワーダ)で土場まで間伐材を搬出し、そこから大型トラックに積み替えて市場まで運搬するという作業工程です。

最近では、土佐市家俊地区で皆伐・搬出作業を行っています。国道56号線からも一部が確認でき、林内も大変明るくなりました。残した良木は間伐する事で、混み合っていた樹幹(枝葉)が数年後には大きく広がり、さらなる成長を促します。

現在、須崎市、中土佐町で収入間伐作業を行っており、管内組合員の皆様には騒音等ご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、間伐作業の相談等も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



親子木工教室

を 開催



毎年夏休み恒例の「ふれあい親子木工教室」を山の日(8月11日)に開催しました。

今年も暑い中、約130人の親子の皆様に参加していただき、木工作品を懸命に製作するところを見ても元気をもらいました。

また「水源林育成士会」主催の木工ブースは木を使ったダーツやボーリングなどのゲームで大盛況でした。



永年勤続表彰

当組合の山本友寿さんが高知県森林組合連合会長より永年勤続表彰（現場技術員）を頂きました。

この表彰は林業就労年数10年を迎える県下の森林組合従事者が戴く名誉ある賞です。山本さんは当組合で「出雲班」の班長として班員を育成、指導しつつ森林整備に取り組んでいます。主な内容としては作業道開設や搬出間伐に取り組み、森林の保全・育成・価値向上に取り組んでいます。

これからも労働安全・健康に気を付け、若い林業担い手と共に林業を盛り上げて行って下さい。



ドローンを導入しました！

この度、須崎地区森林組合では、UAV（ドローン）を導入し、新しい林業の取組として活用を始めました。

木を伐採し、木材市場まで出荷できるようにするまでに、植林、下刈、間伐、生育状態の調査、伐採範囲や搬出ルートを設定するための境界の明確化など、数多くの管理作業があり、さまざまな人々がかわります。

こうした作業に必要な、現況の森林資源情報をドローンを活用し空撮する事で、画像解析などのデジタルデータ化が可能となり、それを共有する事で業務のスピードアップと質の向上を図る事が出来ます。

また、遠くに山がありなかなか行けない山林所有者の方にも、現況の状態を空撮写真や動画で確認していただく事も可能になりました。

本格架線作業においてはワイヤーを元山から先山へと張る過程として、事前に細いリードロープを張り、徐々に径の大きなワイヤーに変えていく作業がありますが、以前まではリードロープを張る際には人力で運んだり、ラジコン飛行機を使い作業を行っていましたが、

ドローンを使いロープを引っ張る作業を行う事によって、スムーズかつスピーディーに架線設備作業が出来るようになりました。

このドローンや、他のICT技術を使う事により、さらに山地災害対策や、シカ被害対策、国土調査事業など、いずれのケースもドローン導入前ではデータ化が難しかった部分でもあるので、ドローンの活用は林業にとってもメリットは大きいと考えられます。



編集後記

本文にもありましたが、今年の安全衛生大会は高幡消防署中土佐分署の皆さんに協力していただき、現実起こりそうな災害訓練を経験をさせていただきました。

実際に現場にいる技術員の人達に119番通報をしてもらい、消防署との電話でのやりとりの様子は何とも言えない緊張感がありました。訓練を重ね、事前に通報する内容を整理し、落ち着いて連絡する事がいかに大事わかりました。この訓練を機会に消防署の方とも交流し情報共有が進めばさらに効果が発揮されると思います。

さて、今回紹介させていただいた新人に、須崎地区森林組合ホームページのブログをお願いしています。不定期ですが更新しますので興味のある方はsusashin.comを検索してみてください。

発行所 須崎市区森林組合 高知県須崎市安和 925
電話 0889-43-0030

令和元年(2019)つち期間表

つち入り	伐倒禁止期間	つち明け
(R元) 9月30日	←14日→	10月14日
11月29日		12月13日
(R2) 1月28日		2月11日
3月28日		4月11日
5月27日		6月10日
7月26日		8月9日
9月24日		10月8日
11月23日		12月7日

この期間は木材・竹材の伐採は避けましょう!虫が入り、腐りやすくなると言われてます。

また、古老の説によると東京を軸に暦が作成されている関係から(湖に干満の差があるように)高知県西部地域は3日遅れて、つち入りをしているようです。